



# 第38期公務員 日本語クラス修了式



日本語で感想を述べる6人の修了生

上海日本商工クラブが20年近く支援を続けているFSG上海市公務員日本語コースの修了式が11月16日に市内のFSG研修センターで開催された。昨年は新型コロナウイルスの感染拡大により、第35期、第36期コースが合同での修了式を11月に開催していたが、今年は第37期の修了式が5月18日に開催されており、それぞれ単独での修了式開催となった。

### 修了式にも新型コロナウイルスが影響

今年は8名の上級クラスが修了式を迎えたが、当日は2名が業務



木版画を体験する受講生

の都合で参加できず、6名が修了証書を受け取った。中国ではゼロコロナを目指して厳しい防疫体制をとっているが、今年は輸入症例での感染者の

他に上海市を含めていくつかの省・市で市中感染が散発的に発生した。そのような時には、若手公務員は即時の防疫体制強化などにいつでも対応できるように常に緊張感を持っており、一部では残業も多くなっているとのことであった。

6名の修了生は、一人ずつ日本語で上級コース修了の感想を述べ、商工クラブの中村事務局長から修了証書を受け取った。以前には、修了式にFSGで中国語を学ぶ日系企業の若手駐在員も参加し、日中交流の場にもなっていたが、新型コロナウイルスの下では参加者をできる限り少数に抑えることから、現在は日本語コースの受講生と先生たちだけに抑えられている。コロナが収束して、若者たちの日中の交流ができる日が一日も早く来ることを期待する。

### 浮世絵文化と体験講座

修了式で恒例となっている日本文

化に関するレクチャーと体験講座では、浮世絵研究をしている講師の〇〇氏のレクチャーが行われた。浮世絵がヨーロッパの絵画に与えた影響や、実際の日本の風景から無駄を省いてどのように絵に表現しているかについて、画像を比較しながら行われた講義は、日本人でも大変興味深いものであった。続いて、木版画制作の体験講座が行われた。初めて彫刻刀を握る受講生もいたようであるが、カーボン紙を使って板に下絵を写して、短時間で上手に木版を作り、見事な木版画を作った受講生もいた。

### 社会貢献と文化交流

商工クラブでは、日系企業の上海での事業が少しでも容易になるようにという目的から始まった公務員日本語クラスであるが、日本語だけでなく日本の文化を中国の人たちに紹介する機会ともなっており、この事業には文化交流の側面もある。

長く続けることは「継続は力なり」という言葉にも表されるように、相互理解の促進に大きな力になるものであろう。商工クラブでは公務員日本語コースの支援とともに、来年は日中国交正常化50周年という節目の年であり、公務員日本語コースの参加者を中心とした日中友好ピンポン大会が再開できると信じている。